

名前

1. 社会権 2. 自由権 3. 請求権 4. 参政権

1. 生存権 2. 表現の自由 3. 法の下での平等 4. 信教の自由

1. 法の下での平等と信教の自由 2. プライバシーの権利と表現の自由 3. 財産権と生存権 4. 請願権と学問の自由

1. 国民が自由に意見を表明し、政府を監視することによって、不当な権利侵害を防ぐという考え方。
2. 国の財政負担を減らすため、ボランティア活動などの相互扶助を国民の義務として強制するという考え方。
3. 国民が自らの力で経済的自立を果たすことが困難な場合に、国が最低限の生活を保障する責務を負うという考え方。
4. 一定の年齢に達した国民全員に、政治に参加するための選挙権を一律に付与し、民意を反映させるという考え方。

1. 世界人権宣言 2. アメリカ独立宣言 3. ワイマール憲法 4. マグナ・カルタ

1. 学問の自由 2. 思想・良心の自由 3. 信教の自由 4. 居住・移転の自由

1. 環境権 2. プライバシーの権利 3. 知る権利 4. 日照権

1. 公共の福祉 2. 地方自治の本旨 3. 法の支配 4. 基本的人権の尊重

1. 幸福追求権 2. 基本的人権の尊重 3. 法の支配 4. 公共の福祉

(2017年 秋田県公立入試 類似)

1. 国が国民の職業を強制的に割り当てることで、国内の失業者をゼロにすることを目的とするため。	2. 個人の内面における考えや宗教的な信念を、他者からの干渉なしに維持できるようにするため。	3. 資本主義の弊害を是正し、国が国民の生活に対して積極的に介入し、最低限度の生活を保障するため。	4. 個人が経済的に自立し、自由な経済活動を通じて自己の生活を維持・発展させることを可能にするため。
---	--	---	--

1. 生活保護法に基づく公的扶助 2. 刑事訴訟法に基づく裁判の公開 3. 公職選挙法に基づく普通選挙制度 4. 教育基本法に基づく義務教育の無償

1. 健康で文化的な最低限度の生活を営む権利

(2016年 神奈川県公立入試 類似)

1. 法の支配 2. 罪刑法定主義 3. 法の適正な手続き 4. 権力分立

1. 平等權 2. 參政權 3. 自由權 4. 社會權

1. 生存権 2. 財産権 3. 知る権利 4. 参政権